

第23回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年3月19日 18時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配付資料

第23回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

- ・被災者への支援を最大限に努めるよう各省庁及び出先機関に周知願う。
- ・また、心のケアの対策について子供たちのスクールカウンセラー的な要望が出てくるのでその準備を進めている。

○小野寺危機管理監

- ・現時点の災害被害状況は死者2,689人, 行方不明者 2,985人。
- ・住居被害は調査中でライフラインは何とも言えない。
- ・被害額約2,830億円, 以上。

○仙台管区气象台

- ・天気予報は大きな変化はない, 明日は明け方まで晴れるが時間は短く, 昼過ぎから雨, 夜は雪交じり。明日以降22日まではぐずついた天気23日からは東部は晴れるが気温は低い状態が続く。

- ・引き続き余震活動は活発。

○佐藤企画部長

- ・現在，都道府県からの支援物資は25県から申し出あり。

○小泉環境生活部長

・埋火葬関係について，県内火葬場及び県外協力火葬場の稼働状況を県のホームページに掲載。また，市町村に対し埋葬処理の意向を確認中。

・また，福島第一原発に関して，放射線モニタリング調査で19日の結果は別紙のとおりで前日より測定値は上がっており，仙台の測定値結果は福島市の40分の1となっている。

○村井災害対策本部長

- ・全壊した家屋を撤去するのに瓦礫はどこに置くのか，市町村の中には置き場所がない所もあり，市町村単位では対処しきれないので県と国で調整する。

○小泉環境生活部長

- ・廃棄物についてさまざまな角度から県と国で調整しており，来週早々に検討する予定。

○岡部保健福祉部長

・自治体からの保健師派遣を国で調査したところ，暫定値として全国で7,798施設、28,929人受け入れ可能。今後依頼があれば，随時対処していきたい。

- ・医療チーム40チーム活動している。

・それから，報道であったように仙台市では透析患者の通院が大変で現在緊急車両で搬送しているが，緊急車両用のガソリンが不足しているため，苦情がきている。しかし，緊急車両自体の制限があり，患者さんには，できれば公共交通機関を利用してほしい。

○村井災害対策本部長

- ・仙台市以外はどうか？

○岡部保健福祉長

- ・バスで巡回をとっている形だが、医療機関と患者の数が多く、対処に限度があるので何とも言えない。

○河端経済商工観光部長

- ・本日、燃料配送を3箇所を実施している。亘理、山元については明日避難所等に配送予定。

○千葉農林水産部長

- ・県内の牛乳製造工場で収入のルートがないため、絞った牛乳を捨てていたが、山田乳業白石工場で3月23日から出荷可能となったので一部改善される。
- ・各漁港の航路を確保するための作業について、気仙沼漁港で今日から作業に入り、500立米の障害物を本日撤去した。その過程でご遺体一体が収容された。
- ・志津川漁港作業21日から開始、女川漁港は22日、石巻漁港は20日を予定している。
- ・塩竈漁港については土木部と協力して実施しているが、本日の作業では650立米の障害物の引き上げを実施した。沈船が多く、本日12隻回収した。

○土木部

- ・JXの構内に散乱している被災自動車については、自衛隊に撤去をお願いしている。
- ・構内でガソリンを抜くものがあるとのこと。県警にパトロールをお願いしている。
- ・阿武隈川流域下水道区域の、多賀城市内でマンホールからあふれ出している。24時間体制で対応しているが、まだ時間がかかるので広報等を引き続き実施していきたい。

○竹内警察本部長

- ・ご遺体収容安置4, 449体。相談ダイヤルに電話があった17, 011件のうち連絡が取れたのは5, 049名。ホームページのアクセスは419, 539件。

○消防庁

- ・3, 242名の緊急援助隊が活動している。
- ・仙台港に隣接した場所で、くず鉄火災が発生しているが、仙台港の使用に影響が出るものではない。現在消火活動を行っているが、かなり消火は困難で数日はかかる。

○海上保安庁

- ・本日石巻市、東松島市の2箇所で見失われた遺体海底調査。残念ながら発見には至っていない。

○東北電力（株）

- ・現在の停電戸数は181, 527戸、停電率13%。津波等の影響で復旧作業に着手できない地域は18万4, 000戸。

○東北経済産業局

- ・3月19日、59箇所のサービスステーションが営業、昨日に比べ22増えている。うち緊急車両用45箇所。一般車が使えるところも増えている。

○教育委員会

- ・4月1日に教職員人事異動発令実施予定。大規模な危害を受けた学校の教職員については必要な期間兼務発令し業務を出来るようにする予定。退職する予定の教職員は、緊急学校支援員に委任し、被災地の学校に派遣し支援してもらう。

○千葉病院局長

- ・食料の調達が順調になってきている。

○伊藤企業局長

- ・大きな変更はない。
- ・大崎広域水道では、注水しながらの工事をしているので新たな漏水を発見。明日までにはなんとかかなると思うが、現在24時間体制で作業をしている。

○村井災害対策本部長

- ・市、町と連絡をとり、避難所が非常に多く物資がなかなか行き届かない所もあり、大変不便をかけているが引き続き対応願います。

次回は3月20日10時00分に開催する。

